

# 第3学年\*組 外国語（英語）科学習指導案

神栖市立神栖第二中学校

指導者 T1 宍戸 奈緒美

T2 大高 遙

ALT Kamaaleo Burnett

## 1 「外国語科」における「話すこと〔やり取り〕」の目標

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。

## 2 単元名 Please tell me about your life.

～面接で自分の一面をくわしく知ってもらうために、「自分の生き方」について面接官とやり取りをしよう～

教材名 Unit2 Haiku in English (NEW HORIZON English Course 3 東京書籍)

## 3 単元の目標と評価規準

### (1) 目標

お互いのことを知るために、現在完了形（完了・継続用法）や現在完了進行形を用いて、ずっと好きなことや、これまで取り組んできたこと、今まで続いている状態や動作について伝え合うことができる。

### (2) 評価規準

| 知識・技能                                                                                                                                                                                | 思考・判断・表現                                                                                                                                                                  | 主体的に学習に取り組む態度                                                                                                                                                                     |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在完了形（完了・継続用法）、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>・現在完了形（完了・継続用法）、現在完了進行形を用いた文の理解をもとに、現在まで続いている状態や動作について理解したり伝えたりする技能を身に付けている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統文化（俳句）の魅力をj知るために、言語や文化について書かれた文章の大まかな内容を捉えている。</li> <li>・お互いのことを知るために、好きなことや取り組んできたこと、今まで続いている状態について尋ねたり伝えたりしている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統文化（俳句）の魅力をj知るために、言語や文化について書かれた文章の大まかな内容を捉えようとしている。</li> <li>・お互いのことを知るために、好きなことや取り組んできたこと、今まで続いている状態について尋ねたり伝えたりしようとしている。</li> </ul> |

## 4 指導と評価の計画

### (1) 指導上の留意点

|                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学年の実態（2022 英検 IBA 平均）<br>Reading 「英検*級」合格レベル<br>Listening 「英検*級」合格レベル<br>Writing／Speaking 「英検*級」レベル |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|

本学級の生徒の多くが学習に真剣にかつ前向きに取り組むことができる一方、自力で課題解決を目指す中、集中力が途切れたり途中であきらめてしまったりする生徒も一部見られる。また、音声面に対する抵抗感はありませんが、個々の学力差が大きく、特に書く力については課題が残る。さらに、自己表現活動や他との交流に消極的な生徒もいるため、コミュニケーションの場の意図的な設定と配慮が不可欠である。

本教材は、日本文化のひとつである俳句を題材としている。教科横断的な視点からも、英語俳句について国語科で学んだ俳句との相違点に気付くことで、言語や伝統文化のよさや特徴を理解することに適した教材である。また、言語材料として、現在完了形（完了、継続用法）や現在完了進行形を扱う。よって、「すでに終わっていること」や「これまで続いている行動及び状態」などを伝え合うことができるようになる。

そこで、茨城県学校教育指導方針外国語（英語）「2 目標と指導と評価の一体化」の達成に向け、単元終末の言語活動に生徒の生活や生き方に目を向けたインタビューを位置付け、パフォーマンス評価を行う。本時においては、自分のことについて現在完了（継続）を用いて他者と口頭でやり取りをし、その内容を書く言語活動を通して、設定した学習到達目標（CAN-DO リスト）の到達を目指す。

(2) 単元のまとまりを見通した計画 (○：評定に用いる評価 ●：学習改善につなげる評価)

| 時間        | ねらい (■)、言語活動 (丸数字)、評価の方法 (※)                                                                                                                 | 知 | 思 | 態 | 備考                                                                                                       |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1         | <b>■</b> 単元の目標を理解する。相手のことを知るために、今年やろうと決めたことなどをすでに終えたかどうかや宿題などの状況について概要を捉えたり、即興で伝え合ったりする。<br>①「今年やろうと決めたこと」についての進捗状況の確認<br>※ノート、活動の観察、振り返りシート | ● |   |   | ・学習の目的や「見方・考え」を生徒と共有するために、オリエンテーションで単元を貫く学習課題や学習の意図を確認する。また、単元に対する自分の目標やその達成に向けた取組を振り返りシートに記入するよう伝える。    |
| 2<br>(本時) | <b>■</b> 相手のことを知るために、ある場所に住んでいる期間などについて相手に尋ねたり、相手からの質問に答えたりする。<br>②「相手はどれくらいしているか」についてのインタビュー<br>※ワークシート、活動の観察、振り返りシート                       | ● |   |   | ・各言語活動において自分のことや考えを自分なりに伝えられるように、ペアによる対話の場面や全体の前で表現する場を意図的に設定していく。                                       |
| 3         | <b>■</b> 相手のことを知るために、今の状況や続いている状態について相手に尋ねたり、相手からの質問に答えたりする。<br>③「相手がどれくらいしているか」についての報告(2時間目の続き)<br>※ノート、活動の観察、振り返りシート                       | ● |   |   |                                                                                                          |
| 4         | <b>■</b> 海外でも愛される日本の伝統文化の魅力をj知るために、日本の俳句について書かれた文章の概要を捉える。<br>④身近な日本のもの、文化、習慣と外国のものとの相違点の調査<br>※ノート、活動の観察、振り返りシート                            |   | ● | ● | ・国語科と連携し、国語科で学んだ内容を振り返りながら俳句の歴史や特徴について理解を深めていくことができるようにする。<br>(国語科 教材名「俳句五句」「俳句を作って句会を開こう」(新しい国語3 東京書籍)) |
| 5         | <b>■</b> 自分のことを知らせるために、現在まで続いている動作について理解したり伝えたりする。<br>⑤学校生活の中で自分が続けていることに関する紹介<br>※ノート、振り返りシート                                               | ● |   |   |                                                                                                          |
| 6         | <b>■</b> 言語や文化の違いを理解するために、英語の俳句の書き方のルールについて書かれた文章から情報を読み取る。<br>⑥日本の俳句が世界を魅了する理由(意見文)<br>※ノート、活動の観察、振り返りシート                                   |   | ● | ● |                                                                                                          |
| 7         | <b>■</b> 英語俳句の書き方のルールなどを理解する。英語俳句を書く。<br>⑦英語俳句(好きな季節とキーワード)の制作<br>※活動の観察、英語俳句、振り返りシート                                                        |   | ● | ● | ・英語俳句のルールを大切にして制作するよう助言する。                                                                               |
| 8         | <b>■</b> お互いの知らない一面をくわしく知るために、自分や相手が好きなことや取り組んできたことについて、尋ね合って答えたり、伝えたりする。<br>⑧自分の生き方と英語俳句作品に関するインタビュー<br>※パフォーマンス評価、振り返りシート                  | ○ | ○ | ○ | ・インタビューで前時に作った英語俳句や自分の思いを表す手立てとして、スライド(タブレット)を活用する。                                                      |
| 後日        | ペーパーテスト(単元テスト)及び単元の振り返り                                                                                                                      | ○ | ○ | ○ | ・「見方・考え」の涵養を評価するために、自分の目標に向けてがんばったことを振り返りシートに記入するよう伝える。                                                  |

5 パフォーマンステストについて

単元終末の言語活動として、面接の場面を想定し、自分の生き方について面接官(ALT)と英語でやり取りをするパフォーマンステストを第8時に行う。1人2分程度とし、始めに、自分の名前やこれまでに続いていることの年数(神栖市に住んでいる期間、英語学習の期間等)に関する質問に答える(知識・技能)。その後、事前の課題として与えられていた「自分の好きな季節」に関する英語俳句についてタブレットを用いて紹介する。それらについて面接官から尋ねられたことに答えたり、自分の意見をさらに詳しく述べたりしながら(思考・判断・表現)、「自分の一面を知ってもらおう」という目的の達成に向け、コミュニケーションを図ろうとする態度を評価していく(主体的に学習に取り組む態度)。